

ガウディの色と形

Antoni Gaudi color and form

2021
7.9 fri → 12.10 fri



「光はあらゆる装飾の基礎である。(中略)光はすべての造形芸術に君臨する。絵画は光を模倣することに他ならず、建築と彫刻は光に無限の色相と変化をもって戯れるようにさせる。」

これはサグラダ・ファミリア大聖堂を設計した建築家アントニ・ガウディの言葉である。ガウディは造形や色を決定するのに様々な工夫をしていた。その一つに「視点と距離の関係」がある。観る場所によってその形や色の観え方は異なるというものだ。近いものほど具象的な形や色が、遠いものほど抽象的な形や色が理解される、という原理である。また、三面鏡を用いて様々な角度から観え方を検証していたことが知られている。本展覧会では、ガウディが実践していたそれらの創作手法を実験検証すべく、多彩色に彩られたサグラダ・ファミリアの鐘楼を題材として、「視点と距離の関係」を体験できる構成となっている。さらに、AIと人間の関係を視覚的に体感する彩色のワークショップも併設している。ガウディが考えた「色と形」の関係が、現代や未来を考えるヒントになっているかもしれない。

本展ディレクター 山村 健(工学部工学科建築コース准教授)・義江 龍一郎(工学部工学科建築コース教授)

サグラダ・ファミリア聖堂の色と形 —視点と距離の関係—

制作:山村健+山村健研究室 Takeshi Yamamura and Yamamura Lab.

この作品はガウディが設計したサグラダ・ファミリア聖堂の鐘楼部を用いて、ガウディが実際に設計で行った色と形の考え方を体験的に理解するものである。ガウディはサグラダ・ファミリア聖堂が様々な地点から見られることを考えていた。特に遠方からは抽象的な幾何学的な形態がよいとしていた。具体的には、サグラダ・ファミリア鐘楼部(1/20模型)を対面する鏡の中央に配置し、鏡の反射を利用することで図像が何回も反転する。すると、モザイクタイルの細かさが認識できなくなり色の塊として見え、さらに組み合わせられた幾何学的形態が一つの造形にみえてくる瞬間がある。その距離と視点の関係の変化を楽しんでもらう作品である。

サグラダ・ファミリア生誕の門・丸シールアート

—もしガウディが施した着色を再現するとしたら—

制作:嶋田 里英 Rie Shimada / DarTec Design & Drawing

本展覧会を体験した来館者は最後にこのワークショップに参加します。1から6までの数字が書かれた正円の線に、6つのグラデーションをもつ正円のシールを貼っていくという参加型アートです。実はこのシールを貼っていくサグラダ・ファミリアの生誕のファサードは、ガウディが本来色を付けようとしていた部分です。参加者は本展覧会で得た色と形についてのアイデアや、ヒントとなる資料を元に色彩を与えていきます。ガウディのトレンカディスを模して作られたひとつひとつのシールはそれ単体では意味を為しませんが、参加者がこのアートを完成させた折には、きっと生誕のファサードに素晴らしい色彩が宿っていることでしょう。

AIガウディ・サスティナブル・アーキテクチャ

制作:久原 泰雄 Yasuo Kuhara

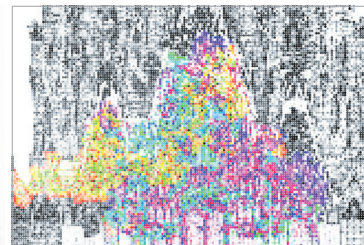
アントニ・ガウディの代表的な建築物であり、現在も持続的に建設中であるサグラダ・ファミリアにAIを使って着色する作品。ガウディは複雑な形状に彩色する際、陶器を細かく砕き、モザイク状に貼るトレンカディス技法を多用した。本作品で用いたAIはセルオートマトンと呼ばれ、格子状のセルと局所的な規則による離散的計算モデルであり、モザイクをセルに見立て、複雑な生命現象のごとく豊かな色彩を生成する。まるで試行錯誤しながら制作する建築家のように持続的に構造物を着色し続ける。



サグラダ・ファミリア聖堂の1/10模型。この形に色がこれから付されます (サグラダ・ファミリア聖堂の色と形 / 山村健+山村健研究室)



サグラダ・ファミリア生誕の門・丸シールアート / 嶋田 里英



AIガウディ・サスティナブル・アーキテクチャ / 久原 泰雄

ガウディの色と形に関する連続レクチャー『世代を超えた二人のガウディ研究者が語るガウディの色と形』

10/2(土) 15:00-16:30 山村 健(東京工芸大学准教授・ガウディ学研究所代表)

10/28(木) 13:50-15:30 入江 正之(早稲田大学名誉教授・DFIフォルムデザイナー・中央株式会社 代表取締役) 山村との対談もあり。

それぞれ会場や実施方法はHPでご確認ください。

cololab gallery

カラボギャラリー



入場無料

- 開館時間:月曜日-金曜日 12:00-17:00
- 休館日:土曜日・日曜日・祝日(※本学イベント等のため、不定期に開館・閉館する場合があります。詳しくは公式ホームページをご覧ください。)
- 会場:東京工芸大学 厚木キャンパス 12号館 2階 カラボギャラリー 〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583 TEL:046-242-4111 URL:<https://www.color.t-kougei.ac.jp/gallery/>
- 主催:東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター
- 協力:早稲田大学建築学教室本庄アーカイブズ(1/20の石膏模型)
Eric Martos Menor(サグラダ・ファミリアの鐘楼3Dモデル)
社団法人ガウディ学研究所(サグラダ・ファミリア生誕の門の点描画、モノクローム写真)
YSLA Architects(展示空間デザイン)
- 協賛:株式会社風技術センター

新型コロナウイルス感染症対策のため、
当面の間、事前予約制とします。

予約フォーム

<https://forms.gle/TDw8QGx34dt8j6hPA>



小田急線「本厚木駅」からバス20分(厚木バスセンター 7番乗り場「東京工芸大学」行き)

Design: Sadatomo Kawamura, Mako Nagaoka